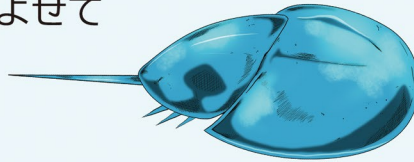


笠岡市議会議員

# まなべ陽子のかぶとがに通信

市議会だより 2号 (2021年4月発行)

- P.1 東日本大震災から10年によせて
- P.2-3 個人質問について
- P.4 日々の活動より 他



東日本大震災から10年という月日が経ちました。改めて東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族、被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

小学校の時、社会の授業で原子力について学習した時、子どもながらに原子力発電って大丈夫なのかな？ととても心配な気持ちになったことを覚えています。

だから1986年4月26日、チェルノブイリで原発事故が起こったときは、とても怖かった。

やはり原子力はまだまだ人間がコントロールできるものではない、と強く思ったし、当時高1だった私は、この悲惨な事故を未来への教訓としなければいけない、と思ったんです。

ところが、10年前、2011年3月11日14時46分。東日本大震災に伴う津波で、福島第一原発が被害を受け、チェルノブイリ原発事故以降で最も深刻な放射能物質拡散を起こしました。

警視庁のまとめによると2020年3月7日時点で一連の余震での死者を含めて  
 死者 15,899人  
 行方不明者 2,529人  
 いまだ故郷に帰ることができない避難者の方々は約41,000人

今までののべ3000万人の方々が除染労働に従事され、放射能処理水はたまり続けて100万トン以上 タンク容量の限界は近づいています。放射性廃棄物は 東京ドーム17個分、事故処理費用は80兆円を上回るとされています。

そしてこの2月13日には余震とみられる地震が、福島県沖を震源としておきました。

10年経っても余震が起こるんです。

地震列島日本では、今後30年以内に70%から80%の確率で南海トラフが起こると予測されています。

だからこそ、あらゆる努力をして新しいエネルギー政策に転換して欲しい。

地域を少しでもよりよい状態にして、子どもたちにバトンを渡しましょう。

笠岡市議会議員として皆さまから議席を預かってから、はや一年が経ちました。新年度を迎える前に、この一年を少し振り返ってみようと思った文章です。お読みいただければ幸いです。QRコードで検索できない場合「まなべ陽子 年度末ですね」で検索いただくと幸いです。



議員報酬増額分を2020熊本水害支援など、災害支援を中心に募金しています。詳細はブログにてご確認ください。QRコードで検索できない場合「まなべ陽子 議員報酬増額分を2020熊本水害支援に募金しました」で検索いただくと幸いです。





## 【不登校児童生徒の出席認定について】

### ○ 教育相談室などの施設が出席扱いとなる基準は何か

#### 教育部長より

平成28年9月に文部科学省が通知した民間施設についてのガイドラインに沿って、教育委員会が作成した笠岡市における不登校児童・生徒の民間施設等における活動の出席扱いに関するガイドラインがある。指導要録上の出席扱いとする具体的な内容としては、教育や不登校への支援についての専門的な知識や経験を持つ相談員による児童・生徒に応じた適切な指導や相談が行われ、教育課程に沿った学習支援や面談が行われていること、また学習や面談等の活動を行うために必要な施設や設備を有していること、そして学校と施設、また不登校児童・生徒やその家庭と十分に連携、協力関係が保たれていることなどがある。

以上の要件を満たし、その施設がフリースクールとしての認可を受けていて、学校の教育課程に沿った学習指導が行われる環境があると教育委員会が判断した場合は、指導要録上の出席扱いは可能となる。

○ 笠岡市立図書館や笠岡市立竹喬美術館、笠岡市立カブトガニ博物館、笠岡市立郷土館など、既存の公的教育施設、あるいは、それに準ずる信頼性の担保された施設などに不登校の児童生徒が通うことで出席扱いとすることはできないか。

#### 教育長より

学校生活に適應できない児童・生徒が安心して通える居場所づくりは、今後推進していく必要があると考えている。ガイドラインに記載されている一定の要件を満たしている施設に関しては、教育委員会の判断の下、指導要録上の出席扱いは可能と考えている。

不登校児童・生徒の中には、自宅から出ることそのものが難しく、外の空気を吸うことが少ない子どもがいる。そのような児童・生徒が教員や相談員と竹喬美術館やカブトガニ博物館等の施設に行き、鑑賞や体験をすることは大きな学びの一つだと考えられるため、指導要録上の出席扱いは可能と考える。しかし、そのような施設に毎日通うようになったとしても、指導要録上の出席扱いとはできない。

その施設がフリースクールとしての認可を受けていて、学校の教育課程に沿った学習指導が行える環境があると教育委員会が判断した場合は、指導要録上の出席扱いは可能となる。今後、一人一台端末を利用した学習が本格的に始まれば、学校や適応指導教室にも通うことが難しい児童・生徒に対して、自宅でICT等を活用した学習支援の充実を図る必要があると考えている。

このような活動の指導要録上の出席扱いに関しては、学校教育における対面指導が適切に行われることを前提として、岡山県教育委員会と連携して慎重に研究をしていく予定だ。

学校生活に適應できない児童・生徒が安心して通える居場所の選択肢を増やし、一人一人に応じた学習支援や自立支援を学校や保護者・関係機関等と連携して推進していく。

○ 今の義務教育の現状では、小学校6年、中学校3年の計9年間、ほとんど登校しなくても卒業証書がもらえる。その間に、教育との出会いが狭まっている子どもたちが、確実に存在している。ガイドラインの存在については理解しているが、人間が作ったガイドラインは、社会状況の変化に対応するように、人間の手で変えていかなければならない。これから始まるGIGAスクール構想の中でできることは何か、教育委員会と市長はしっかりと考えていただきたい。



「GIGAスクール構想にかかるタブレットによる学習体験」を行いました。  
(総務文教委員会主催 2021.3.26)



## 【オーガニック給食の導入について】

### オーガニック給食とは

無農薬、無化学肥料の自然栽培、又は有機栽培の作物を使用した安心安全な給食。



○ 令和2年度9月定例会において検討事項となったオーガニック給食だが、令和3年度、具体的な計画はあるのかを尋ねる。

#### 教育部長より

学校給食にオーガニック食材を取り入れることは、学校給食の目標や環境保護、地産地消、食べ残し、フードロスについて考えるよい機会だ。まず来年度（令和3年度）の学校給食において、オーガニックデーとかエシカル消費を考える給食と銘打った事業を展開しようと考えている。

これは給食に使用する食材について情報提供することにより、健康、環境問題、人権問題等について考えてもらおうとするものだ。全ての食材をオーガニック食材とすることは、量や価格の面において少々問題もあるので、まずは岡山県が作成したおかやま有機無農薬農産物・有機JAS農産物生産者紹介といった冊子等を参考に県内産のオーガニック食材の確保に努め、学校給食に供するとともに学校給食の目的やエシカル消費の啓発を図る。

その後、オーガニック食材入手について問題点や確保等について検証を行い、さらなる事業展開を図る所存だ。

### エシカル消費とは

人や社会、地球環境など、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら行う消費活動のこと



## 【ディスレクシアの児童に対する支援の徹底について】

### ディスレクシアとは

文字の読み書きに限定した困難さを持つ疾患。知的障害や勉強不足が原因ではなく、脳機能の発達に問題があるとされている。ディスレクシアの子どもは文字が読めないのではなく、読むことが極端に遅く、読み間違いも多い。1つの文字を読むことに時間がかかり、間違えるという状態のため、読むだけで疲れて文章の意味が把握できず、読書に対する拒否感が生じ、その結果、語彙や知識が身につかず、学業不振が著しくなってくると言われている。

○ 一人一台タブレットで学べる環境の中で、ディスレクシアの生徒に対してどう支援していくのか。具体的なビジョンは。

### 教育部長より

現在、市内の全小・中学校に整備されている多層指導モデルMIMを使用した支援が有効であると考えている。これは、特別支援学級だけでなく、通常学級に在籍する児童・生徒にも効果があると考えます。

特に低学年の段階でMIMのアセスメントにより、読み書きのつまずきを認知して専門機関・医療機関とつなぎ、子ども一人一人に合った支援体制を整える。

高学年になると、読み書きの困難さの負担を軽減する支援が重要になってくる。一人一台タブレットにある音声で文章に変える機能を活用して作文を書いたり、個人で購入したデジタル教科書の読み上げ機能を使って、物語文の粗筋を理解したりすることができる。

また、表やグラフ・問題文等はカメラ機能を使って拡大することで読みにくさが軽減すると期待している。

子どもたちが一人一台タブレットを活用し、インターネットを利用した調べ学習はもちろんのこと、授業や動画等の最新の学びの配信を自宅ですべて視聴できるようになれば、視覚的・聴覚的にも効果的な復習が可能となる。

これまでの教師から児童・生徒への一方的な指導ではなく、子どもたちから先生へ、子どもたち同士と、ICTを活用することでつながり、学び合い、共に高めていくことで、学習に



困難さを抱える児童・生徒だけでなく、全ての子どもたちの学習支援につながり、子どもたちの学びの可能性が広がると考えている。

今後は読み書きに困難を抱える児童を見極め、小学校低学年にMIMを活用したアセスメントを徹底し、結果を分析して実態把握を行い、各学校へ指導・助言をしていく。

笠岡市教育委員会では、令和3年度に特別支援教育推進委員会を立ち上げる予定。特別支援教育の専門家に指導・助言をいただきながら、市内の特別支援教育の充実に向けて研修や研究を行っていく。また、特別支援教育における効果的なICTの活用も、令和2年度に立ち上げた笠岡市教育情報化推進委員会と連携を図り、検討していく。笠岡市の特別支援教育の在り方に関わる全体構想やビジョンについては、令和3年度に立ち上げる同委員会でも議論していく。

○ 読みにくい、書きにくい児童・生徒にとってタブレットは文房具だ。一人一台タブレット活用の先進地域・東京都渋谷区では、平成29年9月から一人一台タブレットを貸与し、それに併せて合理的配慮も推進され【医師の判断がなくとも、担任や学校長の判断】で、困難さを持たれているお子さんは小学校1年生の段階から読み書きを強制されず、タブレットを文房具として利用することが許可されている。

この取り組みには学校長の理解が必要なので、渋谷区教育委員会としても推進を後押ししているということだ。笠岡市としても教育委員会が主体となって、学校に対するさらなる理解を求めていきたい。

### 真鍋の視点

「知的障害がない」ことがディスレクシアの条件で言われているが、知的障害のあるお子さんが読みにくさ、書きにくさを併せ持つことで、さらに情報を得ることが難しくなっているケースもある。この場合は知的障害のある児童生徒に対してもディスレクシアのある児童生徒に対する支援が有効である場合もあるだろう。診断名は同じであっても、特性のあり方は一人一人違う。だからこそ先生方は障害に向き合うのではなく、一人一人に向き合って欲しい。そのために笠岡市は学校教育に対してさらなる予算の確保をしていただきたい。また、学校教育と放課後等デイサービスの連携をさらに積極的に図っていただきたい。

他、2020年12月議会、2021年3月議会では、新型コロナウイルス感染症による笠岡市内における市民生活への影響、ふるさと納税、2020年10月25日投開票岡山県知事選、笠岡市内における火災件数の推移、笠岡市住宅マスタープラン、移住・定住政策・関係人口政策についてなど質問をしています。

質問の詳細については笠岡市議会ホームページで文章や動画で公開されていますので、ぜひご覧ください。

また、新型コロナウイルス感染拡大状況にもお気を付けいただきながらですが、傍聴にもお越しいただければ幸いです。



日々の活動より



令和2年度笠岡市防災訓練に来賓として参加 (2020.11.1)

新型コロナウイルス感染症という新たな課題に対応した訓練でした。在宅避難、縁故避難、避難所、そして車中泊など。今後、分散避難が基本とされる中で、私たちはどの段階でこういった避難を考えていかなければならないか。災害の状況とご家庭ごとの事情などで、有事の際にこういった避難形態を取るものがベスト、あるいはベターであるかは、お一人お一人違います。まずはマイタイムラインや、個別避難計画など、平常時から意識して準備をしていくことが大切だと改めて考えさせられました。

寺脇研さんを囲んで、生涯教育・インクルーシブ教育について、主に議員向けの勉強会に参加 (2020.11.29)

教育行政の歴史的な流れを踏まえながら生涯教育、インクルーシブ教育という観点から岡山県内における学校教育についての様々な課題を共有し、それに対して議員としてどう取り組んでいけばいいかのヒントを寺脇研さんからたくさん教えていただきました。



「農林水産省の有機農業促進のための協議会設立の要望書」を有志の市民の皆様と共に市長に提出 (2021.3.2)

これまで、農政水産課長、議長・副議長に提出していた同要望書を、改めて市長にも提出させていただき、市長、執行部の皆様に、同席してくださった専門家の方から岡山県の現状の話をしていただいたり、有機農業にかける皆様の思いなどもお伝えさせていただきました。のちに、要望書に対する回答を農政水産課長よりいただき、今後、協議を重ねていくことや、勉強会の開催をご提案いただきました。今後も笠岡市内における有機農業促進のため、市民の皆様と力を合わせて尽力していきます。

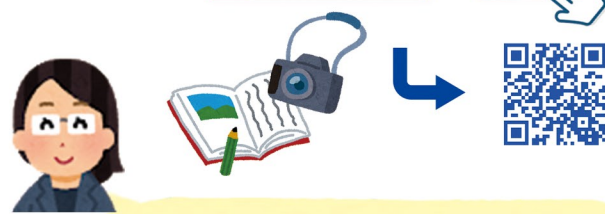
まなべようこ プロフィール

1971年生まれ。3人姉妹の次女。  
 福山暁の星女子中学・高等学校卒業 (そよ風の会)  
 岡山大学文学部 東洋史 卒業  
 (株)まつもとコーポレーション 東京海上キャリアサービス(株) 東京海上(株) 成田支社(派遣) 専業主婦 他 図書館受付、模試採点、ガソリンスタンド、喫茶店、チラシ配り、本屋さんでの在庫整理、等アルバイト & 内職経験多数。笠岡市立大島東幼稚園、中央小学校、大島東小学校、金光学園等で役員経験多数。笠岡市交通安全母の会 連絡協議会 ヘルプマーク・ヘルプカードの認知・普及を実現させる会ハートエイド等、ボランティア活動多数。  
 2020年4月より笠岡市議会議員  
 【所属している委員会・審議会】  
 総務文教委員会 議会・行政改革特別委員会 笠岡市都市計画審議会  
 【入会団体・賛同団体】  
 自治体議員政策情報センター虹とみどり 岡山県市議会議員女性の会 立憲主義と地方自治を守る議員の会 気候危機・自治体議員の会



Instagram [https://www.instagram.com/manabe\\_yoko\\_k](https://www.instagram.com/manabe_yoko_k)



Facebook  で



まなべ陽子市政だより「かぶとがに通信」へのご意見・ご要望・ご提案などお聞かせください。どうぞよろしくお願いたします。

 [manabeyoko.kasaoka@gmail.com](mailto:manabeyoko.kasaoka@gmail.com)  
 <http://blog.livedoor.jp/manabeyoko>



メール ブログ ホームページ